

## 平成27年度市政懇談会記録調書

対象地区	佐野中学区
日 時	平成27年6月27日(土)午後1時30分～午後3時20分
場 所	佐野コミュニティセンター
参加人数	39名

### 内 容 (要旨, 発言, 集約事項等)

#### 事前質問

1. 資源回収の取り組みについて (市民生活部)
2. 親切丁寧な市政運営について (教育委員会)
3. 柏野団地内, 雨水側溝老朽化に伴う改修要望について (建設部)
4. 佐和駅東幹線道路の完成と, 佐和駅自由通路の開通時期について (都市整備部)

#### 懇談質問

1. 佐和高校近隣の道路整備について (建設部)
2. 資源回収について (市民生活部)
3. 道路整備について (建設部)
4. 水道料金改定について (水道管理者)
5. 道路整備計画について (建設部)
6. 水道料金引上げに伴う下水道料金について (水道管理者)
7. 市報の仕分け方法について (企画部)
8. 市と自治会の良好な関係を望む (市民生活部)

#### ◇事前質問 1（資源回収の取り組みについて）

資源回収量が減少しており、自治会の貴重な財源である資源回収補助金も減少している。回収量が増加している自治会もあると聞いているので、その取り組み事例も含め良い方策があればご教示願いたい。

##### ■市民生活部長

自治会等の行う資源回収事業の回収量は、平成 19 年度より減少傾向が続いております。

現在、当該事業は 84 団体で実施されておりますが、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて回収量が増加したのは 10 団体でした。

これら、回収量が増加した団体では、回収ステーションの場所を変更した団体が 1 団体あった他は、「自治会行事」や「自治会だより」を活用した地域住民への働きかけに力を入れており、地道な啓発活動による効果が表れたものと、市では考えております。

自治会におかれましては、地域における書類回覧や祭事等の機会をとおして、事業の周知及び利用についての呼びかけにご協力をいただきますようお願いいたします。

#### ◇事前質問 2（親切丁寧な市政運営について）

佐野中学校のグラウンド工事で、グラウンドそばの水田に無断で測量杭を打たれたため、農作業に支障をきたした。こうしたことは、事前に地権者に対し説明しておけば問題ないと思う。市民の立場に立った親切丁寧な市政運営を期待する。また、グラウンドは高さ 4～5 メートルの擁壁に囲まれた構造になっており、集中豪雨時の排水等が心配である。

##### ■教育次長

佐野中学校グラウンドは、生徒数に比べて狭く、長年体育授業やスポーツ部活動に支障をきたしてまいりました。また、現在は、体育館の建て替えを進めており、関係者の皆さまにはご不便をおかけしております。

水田の測量杭について確認しましたところ、佐野中学校グラウンド拡張工事設計に関わった測量業者が、水田の地権者様に了解を得ず、測量杭を打っていたことが判明しました。地権者様及び関係各者には、お詫び申し上げますと共に今後の再発防止に努めてまいります。

グラウンド拡張工事につきましては、地権者のご協力をいただき、平成 26 年度、平成 27 年度事業として整備しております。着工前の平成 26 年 6 月に、佐野中学区の全自治会長様及び近隣住民の皆様にご知らせをしたところでありますが、工事内容の詳細につきましては触れておりませんでしたので、説明を加えさせていただきます。

グラウンドとその周辺で、高低差が生じる部分には周囲に威圧感を与える擁壁とはせず、土砂崩れの心配のない安全勾配の法面とし、その法面にはサツキツツジを植え

る計画です。さらに、グラウンド面に降った雨水については、グラウンドに埋めた集水管で雨水貯留施設に一旦集め、排水量を絞って市道側溝に流す構造ですので、大雨時に周辺の水田及び水路等に影響は与えないものと考えております。

今後とも、市民の皆さんの理解が得られるよう、親切丁寧な市政運営を図ってまいりたいと思います。

#### ◇事前質問2

今回の件は、私としても自治会長に就任してからまだ3ヶ月しか経っておりませんが、そういう中で経験したことでした。これを見 overs と、市役所の体質の問題ではないかと私はみました。言い変えますと、役所がやることは特別な説明などしなくても、あなた達は理解しろと、そういう態度でこの仕事に臨まれたのではないかと私は思っております。したがって、そういう姿勢は今のこの時代に即していない。厳しく言えば、非常に市民を見下した仕事の仕方です。市長には申し訳ありませんけれども、そういう体質の職員が、まだ市役所の中に残っていると私は思いました。ですから私は質問しているのです。こういう親切丁寧なというのは、教育次長さんから説明していただきましたが、市役所の方で、そういう対応を何人の方がしているのか、これを私は問いたいのです。市役所に行って、書類などをもらい気持ち良く帰って来た人どれ位おられますか。あまりにも役所的なのが、ひたちなか市役所ではないですか。

水田に杭を打たれたこと事態問題ですが、そうではなくて、私がこの質問書を提出したのは5月なのですが、5月に出しているにも関わらず、担当の教育委員会の職員が私のところに来て、説明に来るということはなかったです。これはあまりにも人を馬鹿にしていないですか。今は退職しておりますが、私も似たような職業をしておりましたが、こういう問題が出たら、すぐに当事者のところに行って解決を図ろうというのが一般的な公務員の姿勢ではないでしょうか。私は思いますが、近くに日立オートモティブという工場があります。ここで大きな工場を造るということで、もうすでに始まっておりますが、大きな工事をやりますと騒音の問題がありますから、「騒音が若干出ますが、すみませんが工事をやらせて下さい。」と各自治会に、このような内容の回覧を持ってこられました。やはり民間はそれだけ気を使って仕事しております。

佐野中のグラウンド整備の件は、いま丁寧に説明していただきましたが、その前に体育館の工事もしております。こういったことは、周辺住民にはすぐに回覧でもなんでもいいですがやるべきだと思います。当たり前のように、市がやることだからそんなことやらなくてもいいのだと、そういう時代ではないと思います。そんな考えで市政を行なっているのであれば、大きな間違いです。みなさん優秀な職員さんばかりだと思いますけれど、私はどうも、ぬるま湯に浸かっているのだと思います。ケーズデンキなど行ってみればわかると思います。お客さんに接する態度は、全然違いますよ。そういうところに、職員を研修に行かせたらいいのではないですか。今回は、あまりにも人を馬鹿にしているような経験をしたので、ここでこうして質問したわけです。

別に国の問題とか、そのようなことではなくて、市職員としてこういう質問書が出されたら、即、その人のところに行って解決を図るような努力が足りないと言いたくて質問書を書いたということですので、別に誰を攻撃するとかそういう意味ではなくて、公務員として考え方を変えなければならないと思います。私、第二の就職先は民間会社におりますが、自分で給料は稼がなければならない。公務員はそうではありませんよね。仕事をやらなくても給料はもらえますよね、極論から言えば。そんな馬鹿な話はありませんので、是非、これを機会に考え方を改めるような取り組みをお願いしたい。

◇事前質問3（柏野団地内、雨水側溝老朽化に伴う改修要望について）

50年前に整備された、団地内の雨水側溝の老朽化が進んでいるため、継続的な改修をお願いしたい。

■建設部長

柏野団地内の側溝の老朽化が進んでいることは、市でも承知しており、これまでも部分的ではありますが、地元より要望をいただき修繕をしてきた経過がございます。

柏野団地内の側溝を全面的に改修するには、側溝の構造上、既設の側溝を撤去する際に宅地等へ影響を及ぼす可能性があり、施工が困難な状況となっております。

この状況から、今後にいたしましても要望をいただき、現地を確認しながら維持補修に努めてまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

◇事前質問3

側溝の設計自体の問題だ、と私も思っております。ですから、根本的に直すというのが非常に大変だと思います。問題は、きめ細かに対応していただくという話ですが、きめ細かいと言っているが、どこをやってくれているのか。何を考えてやってくれているのか。そこがさっぱりわかりません。たとえば、谷津を埋め立てして大きい側溝を新しく造りましたよね。あそこに流れ込んでいる水というのは、湧水の関係だけです。あそこに側溝をつなげれば流せると思います。そういうことも含めて、是非検討していただきたい。私が見る限り、そんなにお金がかかることではないと思います。というのは、谷津の側溝を造った時に、団地の入り口の方まで立派な側溝が出来ております。ところが、そこにいかないように全部止められております。そこを抜けば谷津の方へ流れます。そういうことを是非やっていただきたい。

■建設部長

確認して検討させていただきます。

◇事前質問4（佐和駅東幹線道路の完成と、佐和駅自由通路の開通時期について）

■都市整備部長

佐和駅東地区につきましては、平成24年度よりやわらかい区画整理の手法を導入し、現在の道路を活用して家屋移転を極力減らすことにより、事業費と事業期間を圧

縮するよう計画の見直しを行っております。この見直しでは、地区内を骨格となる幹線道路や駅前広場を含む先行して整備する地区と、その後整備するその他の地区に分けて整備する方針で、先行して整備する地区については約 20 年、その他の地区については、その後約 10 年で整備していく方針で、3 月 26、27、28 日には地権者の方への説明会を実施させていただいたところです。今後、平成 30 年度より見直し計画に基づく事業の開始を予定しており、現段階では駅前広場を含む幹線道路の整備の完成について時期を明確にお答えすることは困難ですが、現在、佐野図書館付近まで整備を進めている高場高野線を北に伸ばしていくことと、駅前広場を含む佐和停車場高野線については、公共性も非常に高いことから、先行する 20 年のうちでも早い時期に整備してまいりたいと考えております。

また、自由通路につきましては、昨年 11 月に自治会連合会佐野支部から早期整備のご要望をいただいたところですが、それに先立つ平成 20 年には佐和駅東口の自動改札出入り口設置の(4,529 人の)署名を添えてのご要望をいただいたところであり、その後、市としては毎年 JR に対しその要望を続けてきたところですが、JR の回答は「東口のみ改札設置はできず橋上駅なら検討できる」の一点張りであります。

このような状況の下、先ほども申し上げました通り、市では佐和駅東土地地区画整理事業の見直しについても進めてきており、内容も具体化しつつありますので、橋上駅舎や自由通路の整備についても、検討を開始する時期に来ているものと考えております。

#### ◇事前質問 4

佐和駅の橋上駅につきましては、長年の懸案でございます。いよいよ佐和駅に橋上駅が出来るのかなと楽しみにしておりますが、JR の関係、それから区画整理の関係、そういう関係で延びていると思えますけれど、やはり佐野地区は駅が出来ることによって、人の集まり、賑わいが出来るのかなと、そのように考えております。勝田駅も出来ましたし、隣の那珂市でも、上菅谷の駅が出来て初めて賑わいの町が出来ました。そういうことで、中心市街地の活性化も非常に大切だと思います。それから、海浜鉄道の支援についても大変な事業だと思います。そういう意味で、佐野地区に一つ夢をいただきたいと思ひまして、是非とも市長にこの件をお願いしたいと思ひます。先ほど話しにありましたように、佐野小、中学校で子ども達が 2,600 人位おります。この子ども達のためにも、一つこの地域に大きな夢をいただきたいと思ひ質問させていただきました。

司 会

それでは、これより懇談に入ります。

本懇談会を実り多いものとするために、多くの方よりご発言をいただきたいと思ひます。質問やご意見を簡潔に 1 件ずつお話しただけですと円滑な進行ができるかと思ひます。ご意見、ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。

◇懇談質問 1（佐和高校近隣の道路整備について）

市長さんはじめ、特に道路建設部の方に是非お願いしたいと思います。道路建設課に行きますと、どうもこちらから言う事に対し逃げる算段ばかりしており、全然まとまらない。ですからこの日を狙っていたのですが、それは何かと申しますと、長い間の懸案事項で、佐和高校の玄関までの進入口が大変立派な 12 メートル道路が完成しておりますが、そこから先の、西側に伸びる農業用道路で 2 メートル 70 しかありません。これが、佐和高校が出来てからずっと放置されてきた経過がございます。2 年前にも稲田自治会から質問されていると思いますが、これは非常に危険です。と申すのも、この間 50 メートルしかないのですが、その先に立派な市道が完成しており、これが 6 メートルから 7 メートルあります。そのために、この佐和高校の前を通り狭い道路を抜けて非常に朝晩の交通量が多いです。これが大変危険だということ。

それからもう一つ一番大事なのは、4 年前に震災があり、この大きな高校の生徒がいる逃げ道なのですが、これでは逃げ道になりません。この道路が拡幅していれば、複数の逃げ道が出来ると思います。すでにこの地権者の同意は得ています。ですからこれは市役所の緊急の課題だと思います。9 月の補正予算でも取って、早急に対応してもらわないと市役所の恥になりますよ、このようなのを放置しては。稲田の恥なのかも知れませんが、みっともなくしょうがないです。早急にやってほしい。以上です。

■建設部長

道路改良等の要望につきましては、随時、自治会を通していただいておりますが、現在、市道の整備は 182 件となっている状況であります。この要望の中から優先順位を決めて整備を進めていくわけですが、この優先順位というのは、地元の皆さまのご要望の中で緊急性とか重要性、特に安全性に関わるものから実施させていただいております。また、道路舗装の拡幅であれば、用地買収等を伴った道路整備になります。この場合には、地権者の同意書があるかどうかということをお勘案しながら決めさせていただいておりますので、検討させていただきます。

◇懇談質問 1

よろしく願いいたします。

◇懇談質問 2（資源回収について）

先ほど資源回収の取り組みで、稲田さんの方からだいぶ減っているとの意見がありましたが、これは各自治会かなりの問題でありまして、常葉台でも 3 割、4 割減っております。PR 活動しても一時は少し回復するのですが、いかんせん、新聞回収屋さんやストアーに持って行ってしまふ。それは利益還元が個人にいきますので、やむを得ないかなと思うのですが、自治会としては回収意識の向上を PR して、極力、回収に出して下さいと PR したいと思うのですが、実際、市の支出としては各自治会が半減している所は支的的には余裕が出てきているかと思いますが、その点と、ポリなん

かはキロ8円で一律なので、これも回収すれば金額的に直すと高いので、新聞とかダンボールが他にいつてしまうと致命傷なので、この辺の一律というのを考えてもらえたらありがたいのですがいかがなものでしょうか。

■市民生活部長

資源回収に関しましては、全体的に下がっておりますので難しい問題かと思えます。手元にある資料の中では、全体的に、新聞紙とかあるいはペットボトル等は下がっていますが、ダンボールについてはそんなに落ちていないということで、これはきっと色んな品物を買った時にダンボールがついてきますので、ダンボールについては落ちてないということは、物があるということだと思いますので、一つの方法として、ダンボールを重点的にと言ったら変ではありますが、一つの方法かと、資料見た中でもそのように思います。

キロ当たりの単価の件であります。これは今すぐにどうのとはなりませんので、その辺はご理解いただいて、こういった現状を捉えつつ将来的にどう在るべきか、ということを検討しなければならない問題であるというふうに思います。

◇懇談質問3（道路整備について）

東海村の方から、さわの杜の方のところに瓜連馬渡線に抜けるように道を造っているわけですが、それがずっと止まったままになっております。いま土地を市の方で買い上げて、昔でしたら強制的に買い上げることが出来たはずなのですが、今はどのようになっているかわかりませんが、こういうことは地権者が、うんと言わないと、やらないということになってしまうと、いつ出来るかわからなくなる状態になります。

それから、佐野中学校の道路の整備をしましたが、あれも途中で止まって中々地権者が譲ってくれないという状況で、整備ができない。これにつきまして、いつまでほっておいて、いつまでに完成するつもりなのか、この辺をよく聞かせていただきまして、消防ですと国の出場基準が6分30秒以下で消防車や救急車が来なさいというかたちになっておりますので、これがあれば一番助かるわけで、この辺を急いでやっていただければと思っております。

■建設部長

高野小松原線につきましては、昨年度、東海村との行政界までの改良工事を実施いたしました。現在、用地取得に時間を要している工事延長75メートルを残すだけとなっております。引き続き、用地取得に向けて交渉を進めてまいります。用地交渉が難航しております。今後は、この用地交渉が困難な場合を想定し収用法に基づく事業認定の手続きも進めなくてはならないと考えております。この道路におきましては、消防救急の迅速化、更に災害時の避難道路として、ひたちなか市及び東海村にとっても重要な道路でありますので、今後も引き続き用地の取得に向けて交渉を進め、早期完了を目指してまいります。

もう一つ、佐野中通り線でございますが、これにつきましては交差点部分の稲田堤線の部分の用地交渉が、代替地を求めておりまして時間を要しております。それが解決すれば年内に完了という事になります。

#### ◇懇談質問4（水道料金改定について）

水道代が上がるということなのですが、今まで5番目だったのが12番目になると、ただ、今の5番目の周りを見てみると、水戸市、東海村、大洗町、日立市と非常に馴染みのある近くの市と村があるのですが、こちらの方とひたちなか市は何か設備的に今違うところがあるのでしょうか。

##### ■水道事業管理者

基本的には、自治体ごとに水を供給する施設は自前で造るのが基本なのですが、造った時期が違ったり、機能や規模が違ったりします。水戸市と日立市は水道事業管理者を置いておりまして、よく情報交換をさせていただいております。ついこの間、水戸と日立は8パーセント引き上げたばかりで、上げた理由が、地下の排水管の整備をしたいということで引き上げております。いずれかの時期に、ひたちなか市のように浄水場そのものを交換する時期が来るはずです。ですので、そのような時期が来ますと、100億200億のお金が出るので、それはまた、今は仲良く肩を並べているような感じですが、絶対上がってくるのは間違いないです。それは他の市町村も同様な状況にあると思います。日本全国、水道施設が老朽化しておりまして、その更新時期が迫っている。ということで、うちの市の場合には旧勝田、旧那珂湊で造った時期を考えますと、ほぼ60年が間近に来ておりますので、手を打って工事費用を捻出して新しい施設に変えていこうということでございます。

#### ◇懇談質問4

わかりました。

#### ◇懇談質問5（道路整備計画について）

家の近所にオークスヴィレッジという施設があるのですが、その所の道路舗装をしてほしいと随分前から出しています。そういったことが山積みされていると思うのですが、その辺の所を具体的にどのように計画的にやっています。ということが見えるようにしていただければ一番よいのですが、そういった資料はございますか。

##### ■建設部長

その要望についての資料は、現在ございません。道路建設課の方に問合せをしていただければ、回答しますのでよろしくお願いたします。

#### ◇懇談質問5

一般の普通の会社であれば、計画を立てれば、いつまでに誰が責任を持って、マイルストーンという計画を立てるので、そういった計画に沿ってやっている事実があれば要望している方もわかると思います。その辺の情報量が少ないので、色々なことが



言われていると思いますので、そういったことを考えて欲しいと思います。以上です。

■建設部長

わかりました。

◇懇談質問6（水道料金引上げに伴う下水道料金について）

水道料金の事についてお伺いたします。今ここで言っているのは、水道料金と言っておりますね、下水道料金の方はどうなっているのでしょうか。

現在は、水道料金とほとんど同じだけ下水道料金を払っているわけですが、それに対して今度、水道料金を上げるという場合は、水道料金だけ上がって下水道料金は上がらないのでしょうか。その確認をお願いします。

■水道事業管理者

お手元の資料の3ページの一番下でございますが、今回、水道料金だけ上げさせていただいて下水道料金の方は変更ございません。

◇懇談質問7（市報の仕分け方法について）

市報についてお伺いします。市報を団地で35の常会に分散して配布しているわけですが、それを仕分けるに当たり何丁目何番というかたちで、市報以外の市からくる配布物はみんなそれが付いているのですが、所が、市報だけはEの何番とかいう番号表示だけで何丁目何番という事が入っておりません。そのために我々は配布する時に、リストと比べてやっております。それを直していただきたいということで、今年のお初めをお願いして、分かりました、ということになったのですが、最終的には出来ておりません。何故出来ていないかという、市報の印刷というのは茨城新聞社さんに出しているようで、茨城新聞社さんから更にその下請けさんの会社になっているのですが、そこで配布する時の用紙を作っているようなのですが、パソコンの設定容量が足りないので出来ないという話になっております。是非これを、パソコンの容量を増やすということはそんなに難しい話ではないと思いますので、その対策をして、他の配布物と同じレベルにさせていただきたい。お願いします。

■企画部長

只今の件でございますが、私も細かい内容まで承知しておりませんので、この市政懇談会終了後に具体的にお話を聞かせていただきたいと思います。

◇懇談質問8（市と自治会の良好な関係を望む）

市役所と自治会が良好な関係を持ちたいと、常日頃から思っているのですが、先ほど来のように、市の方からことごとく潰されているという様な結果になっております。結果として、それは何かというと、また昨日一つ事例がありまして、青パトで夕方、稲田地内を前の自治会長と一緒にパトロールしていたのですが、その時、前から要望しておりました道路整備の箇所が、いきなり開始されている所に出くわしました。場

所は申し上げますが、そういうことで、せっかく自治会長が地権者の同意書を貰って市へ提出して一生懸命やったやつが、市の方から何の連絡も無く、いきなり工事を開始されてしまう。これはやっぱり、お互い良好な関係を持ちましょうと言っても無理な話ではないでしょうか。一方的にやってしまうのであれば。それなので是非、そのような事がないように、私も気が短い方ではないのですが、気が短くなります今日は、私が自治会長になってからことごとくそういう事が最近多いです。改めてもらわないともっと厳しく追及します。以上です。

司 会

最後に、懇談のまとめを市長より申し上げます。

#### ■市 長

貴重なご意見やご提案をいただきまして、本当にありがとうございます。今日の市政懇談会は、久しぶりに市役所に対する相当な苦情を聞いたような気がします。

言っている内容はその通りだと思いますし、私もそのようなことがあれば気が付く範囲で注意をしたり話をしたりしている所です。役所の仕事というのは先程お話にもありましたが、良いことをやっているのではという思いは確かにあるとは思いますが。この佐野中のグラウンドの拡張にしても、佐野中通り線にしても若干もう少し早く実施していればよかったかなと思います。また、地元のご要望を伺い、地権者の方のご協力をいただくとか、役所のことですから一年とか二年とか経過しつつ、ようやくいま陽の目を見ている状況で、これまでご協力をいただいた方々に本当に感謝を申し上げたいと思いますし、また、各自治会からご要望をいただいた中でどのように対応していたかということに若干時間が掛かったことについても、まだまだ努力する必要があるかと思っております。

せっかくやっているのに、やり方で色々注文が付くというのは情けないとは思っているので、その所は心得てやりたいと思っております。当然、工事をやるにしても周りの影響、それから工事の内容や進め方自体でも事前に色々ご協力いただくとか、また、ご意見を聞くということも場合によってはかなりやっているとは思っていますが、そういうものがかなり不足しているケースもあろうかと思っております。今回ご要望やご指摘があったことについて、市政懇談会の前に事前に確認させていただくことも当然だと思いますし、そういう意味では信頼関係を築かせていただきたいと思いますので、忌憚のないご意見を引続き申し出て頂きたいと思っております。世の中の常識や世間の常識にしたがって仕事を行なっていれば基本的にはずれのわけないと思っておりますけれども、役所は権力もあり一方的に何から優先してやるか等、順番を決めるそういう立場でもありますので、中々そのへんが気づかないところもあるのかなというふうに思います。道路についてのご要望もいただいている中で、どれを優先して行なっているかという事についても、十分皆さま方にお伝えをして、また、ス

ケジュールについてもお伝えをする義務があろうかと思えます。大変でも多くのものをいただいているので、その中での優先順位というものも各地区事に有る程度割り振って、その中で順番を決めるということも市全体の中ではありません。市全体の中で見たときの優先順位と、また、地区からみた優先順位と色々な見方もありますので、ただこれは情報の問題だと言われればその通りだと思いますので、そういう意味で説明責任をしっかりと果たしていきたいと思えます。どちらかというとな役所の説明責任というのは、市でやっているとな国や県から補助金をもらっているとな認可受けているとなかなると、そちらの方に対する説明責任や状況を整えるということに専心してしましまして、本来サービスの対象になっている地元や市民の方に対する説明責任、また、丁寧さがえてして省略される可能性というのは常にはらんでいますので、引き続き心してやりたいと思えます。どの事業も非常に重要な事業ですので、誠意を持ってしっかりと取り組ませていただきます。

そして、市役所の仕事の全体的なことですけれども、冒頭で申し上げましたが、佐和駅の東側の区画整理の見直しについては、市としては大きな課題でありまして、現計画の通り進めると市が再建団体になるとは申しませんが、将来負担比率は夕張が破綻したときの指標から参考にしても、かなりそれに接近するくらいの財政負担になるということを試算しております。

したがいまして、学校の耐震化もひたちなか市は遅れており県内 44 市町村中 44 番目で、耐震化率 66 パーセントというのは昭和 56 年の今の耐震基準が出来る前の建物が多かったからなのです。それを計画的に改築しなければならず、市内の小学校は 20 校、中学校は 9 校ありますから、2 年に 1 校建替えても何年かかるかということと半世紀以上かかってしまいます。その様なことで逡巡していたということもありますし、また、区画整理の中でかなりお金を投入していたので、そちらの改築の方にも手が回らなかったというのが残念ながら実態だと思えます。これを、なんとかしなければいけないということだったので、数年前の中国の四川省で大きな地震が起きまして、学校が潰れたなど報道され、耐震補強を急がなければならないとな全国的になりまして、改築から耐震補強にスピードアップするということで見直しをしたのが東日本大震災前であります。そうは言っても実際に、東日本大震災が起こりまして、事前の耐震度や耐力度と実際の被害は必ずしも一致しないということが、ある意味では経験をしました。地盤が弱い所は意外に被害が大きいといことがありましてし、耐震度があると思っていた所が被害を受けたりしたとうこともあり、改めて、改築するものは改築するという見直しをいたしました。ですから佐野中の体育館については、その様なことで改築でありますし、湊中学校も改築が終わり、また、大島の体育館もやりました。そして、暫くまだもたせるものについては耐震補強をするといことで見直しをさせていただいて、平成 29 年度までに完成を完了させます。

文部科学省からは、平成 27 年度までに 100 パーセントにしると毎年通知が来ておりますが、私は、国に対して説明責任や義理を果たすためにやっているわけではない

ので、ひたちなか市の方針としては、改築と耐震補強を混ぜて平成 29 年度までに終わらせると言っております。そのために 120 億とか 130 億かけて財源措置をしているわけですから、そういう意味で市民の皆さまには市報で、どのくらいの改築や耐震の状況か進路について市報に掲載させていただきましたが、新聞見ると、ひたちなか市が 44 番目にきているので不安を皆さん持つと思うので、これはやっぱり市民の皆さんに、ちゃんと説明しなければならぬし、市として出来る範囲というのは平成 29 年度までだという事です。ただ、指をくわえてやっていると、補助率を平成 28 年度以降落とすと言っているの、そうなる非常に不利になりますから、平成 27 年度中になんらかのかたちでもいいから着手するという方針でやっております。

そのようなやり繰りを進めている中で、区画整理の見直しも非常に大きな鍵を握っていると思います。これはまだ内部検討ですが、東西の自由通路について兼ねてより要望もいただいております。自由通路を造るとすると、造った通路を橋上化しても残せるような設計構造にしてはどうかと内部で検討指示しています。JR の中でそのような駅舎もありますので、1 回造ったら撤去するということはあるべくやりたくないの、必ず改札口が線路上にあるかどうかということが必須条件ではないかなと、二階に上げるにしてもちょっとずらすとか、そんなことも含めて検討させていただいて、そして、自由通路を先にやって岐路がその後出来る様なスケジュールも考えたいと思います。どれだけ現実的に進めている中で、具体性があるかということについては、時間をみてご説明させていただくなりご相談をさせていただければと思いますけれど、そういうスタンスで駅の事業については進めたいと思っております。この中に、JR の関係者の方がいらっしゃったら誠に申し訳ないのですが、改札口は絶対二つ作らない、ということは譲らないので、線路またがなくて開けるのだからいいのではないかとってもどういうわけか通じないというか、非常にそういう意味では困っております。佐和駅のエレベーターを造った時も、市が 3 分の 1 負担してございまして、JR さんに 3 分の 1 金を出す必要はないのではと言ったのですが、これはルールとして全国でやりますからということで、国の交付金を自由に使える分を逆に当てたと、裏技でやりました。そういうことで、JR さんとも引続き交渉は続けていきたいと思っておりますけれども、なんとか実現可能な案を引き出して積み上げていって仕事を進めたいと思っております。

それから東海との関係の中での道路ことですけど、地権者は一人です。これは事業認定を受けて収用にもっていく手続きを進めようとしています。これは県と協議しなければいけない事項ですけど、消防や避難道路という意味から言っても非常に重要なものでありますので、その意義について県にしっかり理解してもらいたいと思っております。その点について時間がかかっていることを非常に申し訳なく思うわけでありまして、取るべき手段については、ちゃんと取らせていただくように準備を進めさせていただきます。少し具体的なことになりましたが、いずれにしましても市役所の仕事そのものは、公共性を重視して何からやるかとか、何に財源をかけるかと

ということについては絶えず緊張感を持ってやっているつもりです。ただこれは、役所の中での一つ一つの理屈や論理と、市民の皆さまに対するご理解をいただくための手続き、それから片方には国や県があって手続きに関する問題などありますが、基本のところは市民の皆さまのために仕事をやっているわけでありますから、皆さま方のご要望をしっかりと受け止めながら、そのまま要望どおり出来るとは限らないわけでありますから、こういうやり方だったら実現可能だとか早く出来ますとか、建設的にお返しをするような対応をさせていただきたいと思っております。役所に言っても中々らちがあかないのではと、先ほど話がありましたが、私も役人をやっていた経験がありますので自分のことも思い返して言いますと、何か言われて仕事をやらないとか、やれない理由は三つくらい役所の中から出てきます。私なら五つ言えます。そういうことを考えている暇があるのなら、やれる方法を考えた方が早いケースが大部分だと思います。

それには知恵や技術的な裏付け、また、経験も含めて必要なわけですから、そのような対応能力を市としても高めていくことは非常に大切なことだと思っておりますので、職員に対する研修や市の対応力をつけていきたいと思っております。人間、自分が出来そうもないことを言われると逃げるとというのが大体多いと思うのですが、言われたらすぐ出来ると思えば答えられると思っております。ですから答えられる様な対応力を持つことが役所は非常に大切なことだと思っておりますので、そういう意味では私も含めて職員は、改めて良い緊張感をいただきましたので、倍返しにお返ししたいと、その位に対応していきたいと思っておりますのでお手やらかに、また容赦しないところは容赦しなくて結構ですのでよろしくお願いいたします。

私も常日頃感じていることですし、思ったことや気が付いたことはすぐに行動に移すとか反応するという事が、ある意味では皆さま方の不安や疑問に答えることだと思っておりますので、しっかりやらせていただきたいと思います。時間が十数分残ったのはもったいなく思いますけれども、最初に申し上げたとおり今日だけではないので、今日が終われば安心して明日から枕高くして寝られる、と思っている役所ではありませんので、そう言う意味では終わってからまたお聞きすると先程したようですけど、気が付いたこともあるでしょうから、月曜日以降もご提言をいただきたいと思います。というわけで非常に有意義な市政懇談会であったと思っております。しっかりと受け止め今日からの仕事に結びつけていきたいと思っております。本当にありがとうございました。